

拡底式あと施工アンカーを用いた部分鋼板補強工法

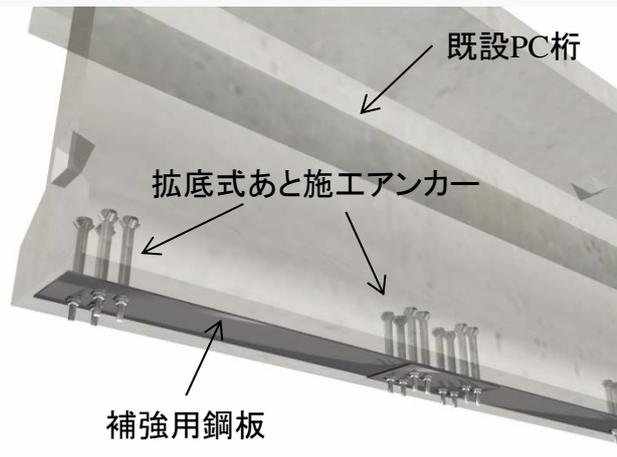
コンクリート構造研究室

概要 近年、既設のポストテンション式PC桁において、グラウト充填不良が散見され、その結果PC鋼材が腐食し破断した事例が報告されています。PC鋼材の破断は、PC桁の安全性に関わる大きな問題となります。
そこで、PC鋼材が破断し耐力不足が予測されたポストテンション式PC桁において、拡底式あと施工アンカーと鋼板を用いて、補強が必要な区間のみを補強する「部分鋼板補強工法」を開発しました。

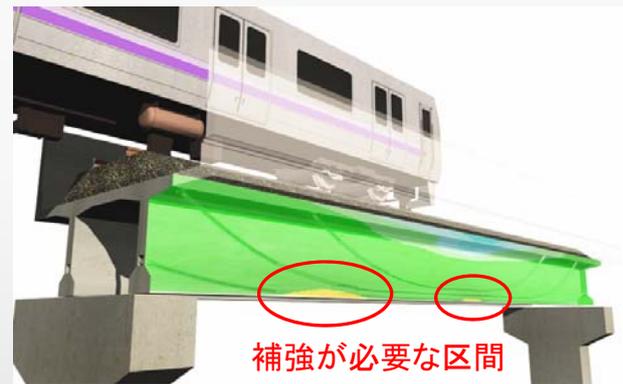
特徴 本工法は、桁全体にわたって大規模施工が必要となる外ケーブル補強に比べ、PC鋼材破断後の鋼材とグラウトの付着特性に基づき、補強が必要な区間を選定することで、小規模かつ簡易に経済的な補強が可能となります。
また拡底式あと施工アンカーを用いたことで、拡張部が機械的に固定されるため、接着系アンカーに比べ、高い耐久性が期待されます。

工期と工費 工費：外ケーブル工法による補強と比較して約30%の縮減が可能です。
ただし、施工条件により工期・工費は変わります。詳細は別途ご相談ください。

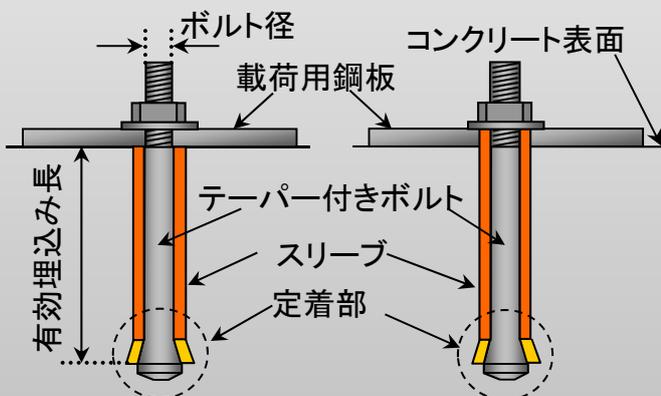
問合せ先 コンクリート構造研究室 TEL:042-573-7281 FAX:042-573-7282



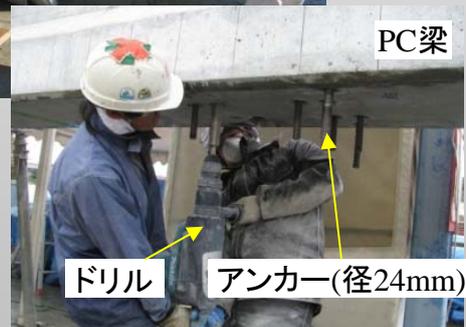
部分鋼板補強工法



補強区間の選定



拡底式あと施工アンカー



施工の様子

◆本開発の一部は、国土交通省の鉄道技術開発費補助金を受けて実施しました。